

9月定例会の報告

9月定例会は、8月26日から9月22日までの日程で開催されました。

定例会初日には、諸般の報告5件、監査報告3件、報告2件、人権擁護委員の推薦についての諮問3件、令和3年度岩国市一般会計歳入歳出決算の認定についてなど認定14件、令和4年度岩国市一般会計補正予算（第4号）など20議案が上程されました。

議決を要する37の案件のうち、諮問3件が可決され、認定14件、議案20件がそれぞれ、経済常任委員会、教育民生常任委員会、建設常任委員会、総務常任委員会に付託されました。

一般質問は9月7日から12日までの4日間の日程で22人の議員が登壇し、「農業支援策の強化について」、「岩国市まち・ひと・しごと創生総合戦略について」、「Society 5.0社会に向けて」等、活発な議論が交わされました。

9月13日から16日の4日間の日程で経済、教育民生、建設、総務常任委員会が開催され、付託された議案について慎重な審査が行われました。

最終日には、各常任委員会の委員長から、委員会に付託された議案の審査経過と結果について報告があり、認定第1号を除く認定13件が全会一致で認定され、議案20件の全てが、全会一致で原案のとおり可決されました。認定第1号「令和3年度岩国市一般会計歳入歳出決算の認定について」につきましては、賛成多数で認定されました。

なお、継続審査案件であった請願第2号については、教育民生常任委員会より引き続き継続審査の申出がなされ、承認されましたが、議員の任期満了に伴い、廃案となりました。

続いて、議員提出議案は、「駐留軍関係離職者等臨時措置法の期限延長に関する意見書」「水田活用の直接支払交付金の見直しについて5年ルール導入の撤回を求める意見書」及び「女性デジタル人材育成を強力に推進するための支援を求める意見書」の3議案が提出され、全会一致で可決されました。